



各事業所やフロアーに掲示

永 寿 会 通 信

黄色い飛行船 第2号

2015年 10月13日

介護支援専門員の資格取得試験が11日にありましたが、受験された職員のお皆さんの手応えはどうでしたか？

法人としても、先週藤沢市内の2か所の地域包括支援センター受託団体の募集に対して、応募書類を提出しました。どのくらいの団体が応募されるか不明ですが、結果を期待したいと思います。

試験といえば日本では2016年度大学入試に使われる入試センター試験の受験申し込みが9日で終わりました。53万人が受験するそうです。一方フランスでは「バカロレア」という統一国家試験が入学資格試験の全てを支配しています。もう200年もの歴史を有するそうですが、その中では歴史や文学など複数の科目のうち、哲学の試験が特に難関で大変だそうです。ほぼ全科目が記述式で、自分で思考し、論理的に表現する力を試されることになっています。

試験を担当する国民教育省の責任者は次のように言っています。「知識があるだけなら、ロボットでもコンピュータでも人間の変わりはできる。バカロレアでは、社会では主体的に生きるためには知識をどう活用できるかの力を問う」と。人は逡巡したり、悩んだり試行錯誤をすることにより成長します。適切な判断や方向を決め状況に柔軟に対応する「人間たる力」が大切なことです。

ロボットやコンピュータでできないことその中に人間の存在する価値があります。今の高度情報社会の環境下、安易に過ごす中で、考える力が失われつつあるのではないかというのが気がかりです。

職員の皆さんは一見手間が掛かるように見え、面倒なように感じられることでも手を抜かず正面から取り組んでください。その中から確実な成長が遂げられます。

私は竹の話をするときがあります。竹は節があるから裂けずに成長するのです。その節にあたるのが、人間の成長における節、つまり逡巡や思考です。大事にしましょう。

以 上